

成長ありきの戦略は幻想になった

—どうする？ 日本企業

神戸大学大学院教授 三品和広

- *売り上げは伸び、利益は低迷
- *腕時計にみる逆転劇
- *愛情欠いた品質へのこだわり
- *自動車にみる黎明期の挑戦
- *ライフサイクルにおける衰退期
- *衰退期に「成長」を叫び続ける愚
- *手段と目的を取り違える戦略暴走
- *日本の経営の幻想
- *こうしよう！ 日本企業
- *組織ありきから人材ありきへ



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

今日は雨の中をおいでいただいた甲斐のある良いお話が伺えると思います。三品先生は経済倶楽部へは初めてですけれども、東洋経済とは長いご縁でたくさん良い本を出していただいております。特に『戦略不全の論理』と『戦略不全の因果』の2冊は素晴らしい力作で、企業のデータをしっかり分析してユニークな結論を出されておられます。ともに3000円前後の立派な本ですが、特に経営者には大いに参考になる大変な力作と言っていると思います。

去年夏には『どうする？ 日本企業』という本を出されましたが、これはとても読みやすく、現在の日本企業がなぜこんな袋小路に入ったのかを考えるうえで非常に参考になります。私も

東洋経済の書評で紹介させていただいたんですけれども、目次からして興味津々で、「本当に成長戦略ですか？」とか、われわれはイノベーションについては絶対的信者みたいなものですが、けれども「本当にイノベーションですか？」とか、「本当に品質ですか？」などと刺激的なテーマがたくさん並んでおります。

これを機会に三品さんにも経済倶楽部の常連講師になっていただけるとありがたいと思っておりますが、ともあれ今日は必ずや期待にたがわぬお話になりますから、お休みにならずじっくりお聞きください。（笑）それでは三品先生、よろしくお願いたします。（拍手）

三品 皆さんこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました神戸大学経営学部、三品和広と